

CAMPUS 八戸学院

vol.54

スポーツ局新設へ

～大学スポーツブランド価値の向上を目指して～

地域全体を学びのフィールドに

～地域課題と解決策を考える～

女子アスリートが抱える
健康問題について

八戸学院大学女子ラグビー部 研究成果発表

八戸学院大学

スポーツ局新設へ

～大学スポーツブランド価値の向上を目指して～

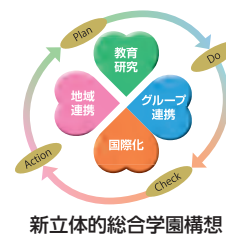
八戸学院大学における取組み

- ・「強化指定部」を中心に部活動と学業の両立を支援します
- ・2月の常任理事会において八戸学院大学「スポーツ局」開設が承認されました

スポーツ局 三つの柱

- | | |
|----------|---|
| ①学生支援 | 部活動指導者と教員による学びとスポーツに取り組む環境づくりのサポート |
| ②研究体制の構築 | 最大のパフォーマンスを発揮するために、部活動の枠を超えて、コンディショニング法や食事、睡眠などの生活面をトータルで支援するための研究の実施 |
| ③社会貢献 | 地域の子どもや高齢者にスポーツの楽しさを伝える活動
世界で活躍するジュニア選手を育成する「スポーツアカデミー」の設置 |

選手や指導者育成、スポーツを通して一層の地域貢献を目指します



CONTENTS

- 3 スポーツ局新設へ
～大学スポーツブランド価値の向上を目指して～
- 4 地域と共に
- 6 地域全体を学びのフィールドに
～地域課題と解決策を考える～
- 8 女子アスリートが抱える健康問題について
八戸学院大学女子ラグビー部
モナリザ賞研究成果発表
- 10 八戸学院 TOPICS
- 12 ステラが行く／ステラ・フォーカス
- 14 図書館
- 15 同窓生の広場
- 16 イノベーションプログラム（基金）報告
- 18 理事長散策



『数の体系(上)(下)』

彌永昌吉／岩波書店(岩波新書)



数とは何か？なぜ、30と50では50の方が大きいのか？数には自然数、整数、有理数、無理数…と多くの種類があるが、数そのものについて真正面から向き合い、専門的かつコンパクトにまとめられた名著が彌永昌吉の『数の体系(上)(下)』である。1, 2, 3…という数の意味や集合について新書といえども一般向けの数学の教科書より遥かに詳しく述べられている。新書は時事問題・

社会問題の解説だけではなく、本書のような専門的な内容のものも数多く存在する。生涯学習、学び直しが注目されている中で、専門的な内容を安価に手軽に、自分の興味のある内容に密かに向き合うのも粋なものではないだろうか。



八戸学院大学
地域経営学部 准教授
田村 正文

CAMPUS 八戸学院

vol.54



表紙

図南小学校で行われた光星高校女子バスケットボール部によるバスケットボール教室。図南小学校バスケットボール愛好会のハツラツとしたプレイに高校生も笑顔で応援します。

建学の精神 「神を敬し、人を愛する」

カトリックの精神に則る道徳教育を施し、高尚なる人格の完成を期し、現代社会が要請する有為の人材を育成することをもって目的とする。(寄附行為 第3条)

- 八戸学院大学
TEL 0178-25-2711
- 八戸学院大学短期大学部
TEL 0178-25-4411
- 八戸学院地域連携研究センター
TEL 0178-25-2789
- 八戸学院図書館
TEL 0178-30-1695
- 八戸学院光星高等学校
TEL 0178-33-4151
- 八戸学院光星高等学校専攻科
TEL 0178-25-6322
- 八戸学院野辺地西高等学校
TEL 0175-64-4166
- 八戸学院幼稚園
TEL 0178-34-5765
- 八戸学院聖アンナ幼稚園
TEL 0178-45-3670
- 八戸学院第二しのめ幼稚園
TEL 0178-25-2488

<http://kosei.hachinohe-u.ac.jp/>

光星高等学校保育福祉科

老いも若きもみんな集まれ！

令和元年 11 月 8 日（金）
光星高校オープンスペース



保育福祉科の生徒が勉強を通して世代を超えた人とのつながりの重要性を感じ、異世代交流会を光星高校オープンスペースで開催。世代を超えて、かるたやけんだま、こま回しなど楽しみました。

現代芸術教室「アーツ」

てづくりボールとゴールでサッカーをしよう！

令和2年1月12日（日）
YS アリーナ八戸



当日は、光星高校女子サッカー部がお手伝い

八戸学院大学短期大学部 幼児保育学科 佐貫 巧 准教授が講師を務める、現代芸術教室「アーツ」がYSアリーナ八戸で開催され、ダンボールやガムテープを使って、オリジナルの



ボールとゴールを作成、おもいっきりアート×サッカーを楽しみました。

八戸学院大学 看護学科

女性のための健康ミニセミナー

令和元年 12 月 14 日（土）
YS アリーナ八戸 サテライトキャンパス



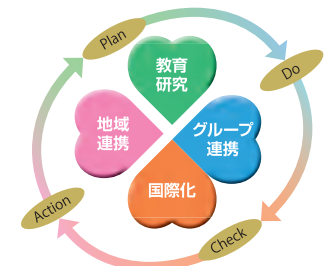
八戸学院大学看護学科 佐藤真由美 助教を講師に、女性のための健康ミニセミナー「乳がんのお話」を開催。学生が手作りした冊子とともに、乳がんについての知識や、免疫力を高める方法を学びました。

地域と共に

光星高等学校女子バスケットボール部

バスケットボール教室

令和2年1月7日（火）
八戸市立図南小学校体育館



新立体的総合学園構想

八戸市立図南小学校バスケットボール愛好会対象に開催されたバスケットボール教室では、高校生が小学生とペアになりマンツーマンで体幹トレーニングやボールとメガホンを使用した練習などを指導しました。最後は、お互いの成長を誓い、ハイタッチで終了しました。



田子町 ケーブルテレビの番組企画・出演・制作を通して町の魅力を発信!

田子町で農家民泊の体験、地元住民からのヒアリング調査を通し、地域資源の掘り起こしを実施。田子町の魅力をまずは町内の皆さんに再認識してもらい、町外へと情報発信を行うため、学生視点で田子町ケーブルテレビの番組の春・夏・秋・冬号を企画制作した。



健康をテーマとして立ち上げた商店街の店主や地元の市民活動団体とともに企画した「またあしたプロジェクト」のイベントに参加。

五所川原市 健康づくりで 大町商店街の活性化・賑わい創出 「また・あ・したプロジェクト」

五所川原市大町商店街をフィールドとした商店街活性化に関する調査を実施。商店街の賑わいづくり、活性化のために、



健康をテーマとして立ち上げた商店街の店主や地元の市民活動団体とともに企画した「またあしたプロジェクト」のイベントに参加。

北海道江差町 歴まち商店街協同組合 まち歩きによる活性化を事例から学ぶ!

江差町は歴史や文化、地域性を活かした街づくりに力を入れていて、様々な魅力的イベントの開催や地域活動を通して新たな人の流れを生み出している点に着目し訪問。実際に



活動している江差町歴まち商店街協同組合の方々と「まち歩きに関する勉強会」を実施。

五戸町 三大肉プロジェクト ご当地メニュー開発

五戸町の賑わい創出のために、五戸の地域資源である馬肉・倉石牛・シャモロックという三大肉でご当地メニューを開発するという目的で、倉石牛祭りでの来場者へのアンケート



調査や、大学祭での試食テストなどを実施し、メニュー創作に向けた活動を行った。

三戸町 農商工連携 サポートインターンシップ

民泊先の農家での生活体験と農作業体験を通じて、三戸町と農業への理解を深め、商工業者へのインタビュー調査を実施。農業と商工業とのコラボレーション商品などの新たな



アイデアや農商工連携を活性化させるための様々な課題や解決策の提案を行った。

五所川原市・つがる市 地域の旅行素材として活用できる 農林漁業資源や観光資源等発掘調査

青森県西北地域での農家民泊を通じ、五所川原市、つがる市における地域資源を発掘し、窯焼きピザ体験や陶芸体験



など、旅行素材としての体験メニューを調査した。青森県西北地域でのグリーンツーリズムを活用した魅力ある体験メニューの開発について、報告、発表を行った。

大間町・風間浦村 青森の地域資源魅力再確認のための調査

ブルーツーリズムやグリーンツーリズムなど様々あるが、やはりキーとなるのは人であり、“ヒューマンツーリズム”であるという考えのもと、地域資源、魅力を見つめなおし、より一層の郷土



愛、地域愛を育むことにつながるキーパーソンにインタビュー調査を実施。

三戸町 労働力補完 システム構築のための基礎調査

労働力不足、担い手不足といった深刻な地域課題をどのような仕組み、新たな手法等で解決していくことができるのか。三戸町の農家さんの協力のもと、労働力不足の現状を現場



で体験しながら調査を実施し、現状を把握し、労働力補完のための新たな方策を提案した。

地域全体を学びのフィールドに ～地域課題と解決策を考える～

研究活動について

私は、机上の学問だけではなく、地域全体を学びのフィールドとすることが大切だと考えています。特にゼミナール活動では、様々な地域課題を適切に掘り起し、課題解決策を考え、提言していく力を身につけてもらうことを目的として、可能な限り積極的に地域へ出かけ、自分たちの目で見、聞いて、調べるという「フィールドワーク」を主体としています。充実したフィールドワークを行うことができていくのも、学びの場を提供してくださる各地域の皆様方のご協力とご指導のおかげで日々感謝しています。基本的に青森県内を中心として活動していますが、関連した活動では、

県外へ出かけることもあります。学生の多くは、講義以外では部活動やアルバイトと忙しく、大学のキャンパスと住まいの往復だけになりがちです。そのため、八戸市や近隣市町村の名所などに出かけることもなく4年間の大学生活を終えるという学生も少なくありません。広く地域を知ること、大学卒業後もできることではありますが、学生にとって、多世代、多文化交流の大変貴重な学びの機会となります。地域を知ること、様々な人を知る良い機会となるだけではなく、多くの人たちと交流すること、コミュニケーション能力を高めることに繋がります。

何より、地域を元気にする活動、地域力を高めるための活動に参加することで、学生たちが自分に自信を持ち、生まれた地域、暮らしている地域を見つめ直し、地域愛を育むことにも繋がっていくものと確信しています。学生時代からの様々な地域活動、そこから得た経験を強み、財産として、学生たちには本学卒業後もそれぞれの地域で活躍、貢献し続けてもらいたいと願っています。これからも、地域における良質な学びの場を確保し提供できるよう、広くアテナを張り、地域経営学部として地域に関わり、充実した教育・指導に努めていきたいと考えています。



八戸学院大学
地域経営学部 准教授
堤 静子

青森公立大学大学院博士後期課程修了
(経営経済学博士取得)

2014年4月八戸学院大学短期大学部
ライフデザイン学科着任
2018年4月より現職

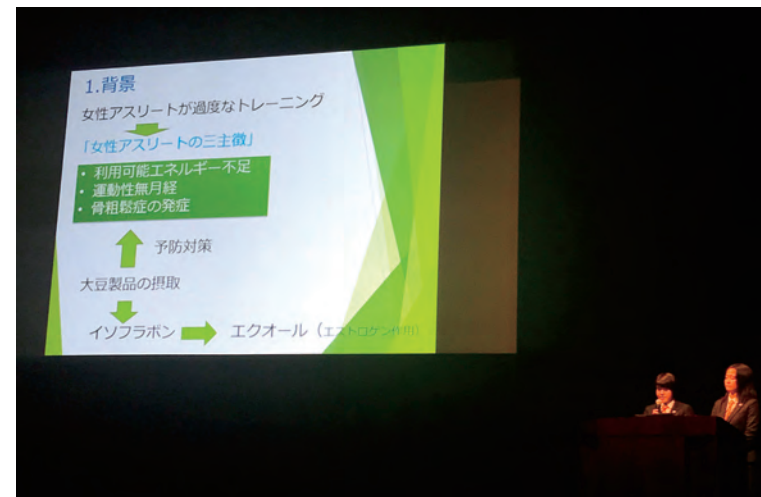
研究テーマ 少子化、家計行動の実証分析、
地域経営など
担当科目 地域マーケティング、マーケティング論、消費者行動論、研究演習など

主な社会活動 八戸市男女共同参画審議会会長
八戸市総合計画策定委員会委員
青森県地方港湾審議会委員
青森県水産振興審議会委員
青森県むつ小川原開発審議会委員
NPO 法人あおもりみなとクラブなど

「モナリザ賞」検証結果発表

女性アスリートが抱える健康問題について

八戸学院大学女子ラグビー部 田端 ひかる さん（人間健康学科 3 年）
鈴木 佳寿音 さん（人間健康学科 3 年）



検証結果発表の様子（東京・有楽町）

女性アスリートが過度なトレーニングをすることによって起こる女性アスリートの三主徴、つまり利用可能エネルギー不足、運動性無月経、骨粗鬆症の発症を引き起こすことが近年問題視されています。この3つの疾病は独立して存在するものではなく、それぞれが関連し合っていますが、この三主徴のはじまりは利用可能エネルギー不足と考えられています。これらの予防対策として様々な研究がなされる中で、大豆製品を常食することに着目した研究はあまり見当たりません。イソフラボンがエクオールという女性ホルモンの類似物質に代謝され、エストロゲン様作用を示し、骨密度低下の抑制や悪玉コレステロールの減少など特に更年期女性における研究は数多くされています。

本研究の目的は若い女性アスリートが過度なトレーニングをすることによって起こる利用可能エネルギー不足・運動性無月経・骨粗鬆症の予防に大豆食品摂取の効果がどのように作用しているかを明らかにするため、体組成、骨密度、24時間採尿やエクオール検査など様々な項目を測定し、それぞれの関連性を解明することで、女性アスリートが抱える健康問題の解決に繋げることです。

調査対象は、本学女子ラグビー部11名と女子サッカー部11名の計22名で、調査期間は2019年4月から10月までの半年間です。ラグビー部は納豆2パック、豆腐3分の1丁、豆乳100mlを毎日摂取し、サッカー部は食事制限なしで行いました。

測定方法

①食事記録

選手管理システムAtletaを用いた食事記録を行いました。これらの栄養素の摂取量を測定し、目安となる摂取量に対して摂取量を5段階で点数化し食事摂取評価を100点満点で算出しました。

②体組成

体組成計にて脂肪量、体脂肪率、筋肉量を測定しました。

③骨密度

骨密度を測定し、骨の密度を示すステイツネス値を算出しました。

④尿中エクオール量・採尿

ソイチエックというエクオール検査キットを用いて早朝尿を採尿し、ヘルスケアシステムズに分析を依頼し尿中エクオール量を測定しました。また、アリコートカップを用いて24時間蓄尿方法で採尿し、クレアニチン、カリウム、大豆イソフラボンなどの分析は武庫川女子大学国際健康開発研究所に依頼しました。

⑤生理不順の評価の把握

FATスクリーニングシートと選手管理システムAtletaを用いて月経異常の評価を行いました。

これら全ての統計処理は対応のあるt検定、対応のないt検定、ピアソンの相関関係を用いました。

測定結果

①食事記録（図1）

食事評価に関しては、ラグビー部のエネルギーは推定エネルギー必要量を充足していましたが、サッカー部の推定エネルギー必要量は不足していました。ラグビー部はサッカー部に比べて食事評価点数は有意に高く、バランスよく摂取し続けている結果となりました。

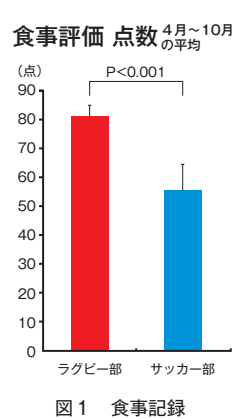


図1 食事記録

②体組成（図2）

脂肪量体脂肪率ともに部活間の4月・10月の月別の相違は見られませんでしたが、筋肉量についても有意差はありませんでした。

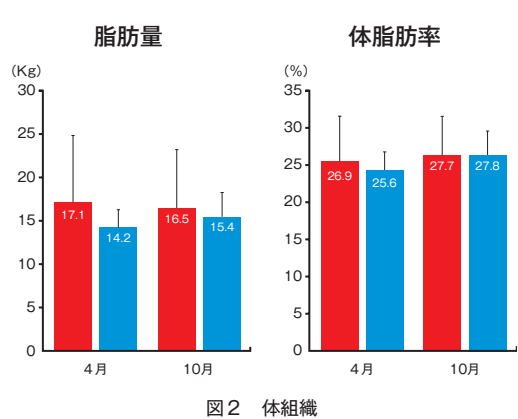


図2 体組成

③骨密度（図3）

4月と10月で比較すると、有意差はないもののサッカー部が1.4%向上しました。これはラグビー部のカルシウム摂取量がサッカー部より多いことに加えて、カルシウムの吸収率を高めるビタミンDの摂取量の差や、骨の形成を促すビタミンK2が豊富に含まれている納豆を朝晩1パックずつ摂取したことも増加した要因と推察されます。

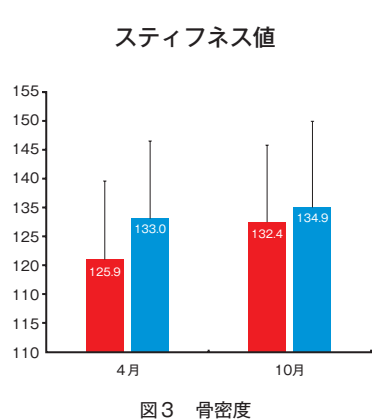


図3 骨密度

④尿中エクオール量（図4-1・4-2）

ソイチエックによるエクオール値の結果です。エクオール値に関して、部活間の月別の間には有意な差は見られませんでした。また、エクオール量と骨密度の間には相関関係が見られませんが、エクオール量の増加とともに骨密度が上がるという傾向がみられました。

⑤生理不順の評価の把握

FATスクリーニングを用いたアンケートでは、この一年間に月経が三ヶ月以上なかったことがありますか？という質問に対して一人ではありませんがラグビー部において減少がみられましたが、サッカー部は該当者がいませんでした。次にあなたは自分の月経に何か問題があると思いますか？という質問に対してサッカー部の人数は変わりませんでした。ラグビー部は3人から0人と改善しました。

エクオール値

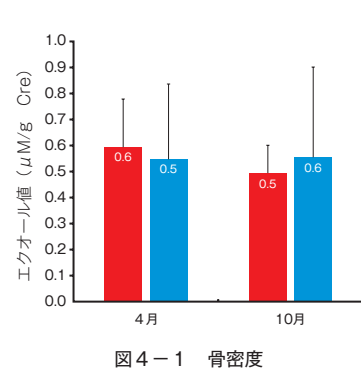


図4-1 骨密度

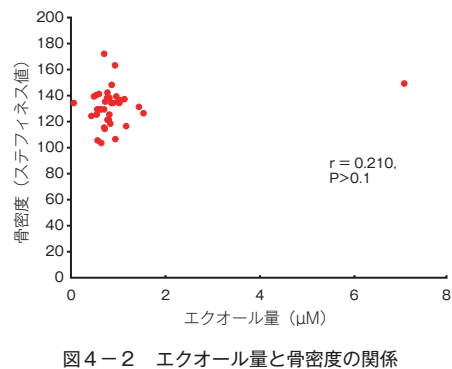


図4-2 エクオール量と骨密度の関係

結論

利用可能エネルギー不足については、ラグビー部員は、推定エネルギー必要量より高値を示しました。

一方、サッカー部員の推定エネルギー必要量は不足しており、将来、利用可能エネルギー不足による三主徴に陥る可能性があります。

運動性無月経に関して生理不順などの問題については、大豆食品を毎日摂取したラグビー部員に改善傾向が見られました。骨密度に関しては、半年間での骨密度の増加率は、ラグビー部はサッカー部に比べて統計的に有意差はないものの、高値を示しました。このことは、ラグビー部はカルシウムの摂取量がサッカー部より多いことなどが起因していると考えられます。カルシウムの吸収率を高めるビタミンDの摂取量や骨の形成を促すビタミンK2が豊富に含まれている納豆を朝晩1パックずつ摂取したことも増加した要因と推察されます。

以上の結果より、大豆食品を半年間、毎日摂取することにより、推定エネルギー必要量の充足、生理不順の改善、骨密度の上昇などの効果が見られましたが、統計的に裏付けるまでには至りませんでした。大豆食品の効果は短期的ではなく、より長期的な観点から論ずる必要があると思われます。

光星高 東日本大震災復興支援事業 ～大船渡第一中学校との交流会～ [10/30]

青森県の復興支援事業の一環として、本校チアリーディング部・吹奏楽部・硬式野球部総勢 51 名で大船渡市立第一中学校を訪問し、全校生徒の前で演舞・演奏をしてきました。

チアリーディング部による演舞、中学生へのリフトアップ体験、吹奏楽部による演奏や、硬式野球部の武岡君たちへのインタビュー、大船渡第一中学校吹奏楽部とのコラボ演奏、最後には中学校側からのお礼として全校による合唱があり、とても充実した内容でした。

想像もできない被害の中、頑張ってきた子どもたちを少しでも元気づけてあげたく、精いっぱい明るく励ましたいという思いで演舞・演奏してきました。我々以上に元気な中学生と心通わせながら、交流できたことはお互いにいい経験になりました。

また、11 月 27 日には光星高校にて復興支援事業の報告会を行いました。発表した内容を、全校生徒も真剣に聞いており、震災について改めて考えるととてもいい機会になりました。



専攻科 自動車校外実習が終了 [11/20]

毎年恒例の行事となっている校外実習を、自動車科 1 年生全員が県南地域 7 ヶ所の自動車事業所に分かれて体験しました。

実習先は学生本人が自己の将来の就職を見据え決定します。また、この実習は整備技術の修得だけではなく、プロとしての自覚と責任感の大切さを学ぶ場でもあり真剣に取り組みました。

更に専門知識を深め卒業後は実社会において活躍することを期待します。校外実習にご協力いただきました各企業の皆様方には、心よりお礼申し上げます。



専攻科 合格率100%を目指して [1/26]

介護福祉科 2 年生 9 名が、介護福祉士国家試験を受験しました。目指せ合格率 100% を目標に、2 年次の 4 月から 1 ヶ月に 1 回のペースで模擬試験に挑み実力を培ってきました。学生一人ひとりが様々な状況の中で、クラスの仲間達と助け合いながら一致団結して頑張ることができたことは、今後の糧になったと思います。一念天に通ず、3 月 25 日（水）には合格を勝ち取ってほしいと思います。



大学 短大 学友会・学生会報告① クラブ・サークル活動報告会 [12/6]

報告会は、1 年の活動を振り返るということで、昨年度より多くの学生が参加し、どのクラブ・サークルも、とても内容の濃い、素晴らしい発表だったと思います。各クラブ・サークルの皆さんには、よりよい活動につなげるため、今年度の良かった点、反省点を来年度に活かしてもらいたいと思います。

来年度はさらに、クラブ・サークルのメンバー全員に参加してもらえるように工夫していきたいと思います。学友会・学生会では、学生も地域の方も楽しめる行事ができるよう、企画運営にいっそう力を入れていきます。



報告会終了後の懇親会にて

大学 短大 学友会・学生会報告② クリスマス会 [12/13]

今年度は、「参加した人全員が楽しめる、そして来年も参加したいと思えるクリスマス会」をテーマに、スタッフ一同早い段階から準備をしてきました。

短大学生ホールで開催することとしたため、多くの学生に参加してもらえるか不安でしたが、当日は約 100 人の学生が集まり、ハンドベルサークルや軽音楽部の演奏、ビンゴ大会など、盛会のうちに終えることができました。最後まで楽しい会になったと思っています。

来年度も、多くの学生に楽しんでもらえるクリスマス会を開催できるよう、学友会・学生会一同取り組んでいきます。



大学 八戸学院大学看護学科 就職説明会開催 [11/30]

看護学科学生の進路選択の機会とすることや就職への意識を高めることを目的とし、就職説明会を実施しました。説明会は県内を中心とした 18 施設にご参加いただき、看護師や採用担当者から施設の概要や特色などを伝えていただきました。

当日は看護学科 3 年生 39 名が参加し、真剣な表情で各施設の説明に耳を傾けていました。

学生からは、「それぞれの病院の特徴や教育を知り、就職についての視野を広げることが出来た」「病院のことだけでなく、考え方・思考の成長の仕方を学ぶことが出来た」などの感想がありました。



野西高 サッカー部 全国の舞台へあと半歩 ～決勝 P K 戦で涙～ [11/16]

第 98 回全国高校サッカー選手権青森予選の決勝戦が県総合運動公園陸上競技場にて行われました。当日は気温が低く、強風が吹き荒れる中、全国大会出場をかけて青森山田高校と対戦し、本校は全校応援を行いました。

本校サッカー部員は全力疾走で体を張った守備を見せ、一人一人の闘志があふれ、この試合に懸ける思いが伝わってきました。

この日は風が強く、両者思い通りの作戦を展開できずに苦しみました。主将の花田君は「少ないチャンスをものにできなかった。」と振り返りました。それでも、昨年の全国大会覇者である青森山田に対し、P K 戦までもつれこむ接戦を演じ、優勝にあと半歩まで追い詰めました。必ず優勝できると信じています。来年も本校サッカー部の活躍にご期待ください。



八戸学院聖アンナ幼稚園

えんぶり～八戸の文化に触れて～

寒い冬の遊びを満喫する一方で、はやく春が来ないか心待ちにしている中、2月17日から始まった『えんぶり』を幼稚園で鑑賞しました。今回、十一日町机組のどうさいえんぶりという、うたや仕草、テンポが速い勇壮華麗な舞を見せていただきました。初めて見る衣装や、迫力のある太鼓の音に合わせて思わず体が動いてしまう子もいました。えんぶりの『摺りはじめ』から『摺りおさめ』まで9つの演目を見て『踊りがかったよかった！楽しかった！』の声が多く大満足な子どもたち。聖アンナ幼稚園の在園児もえんぶりに参

加しており、子どもたちはステージで堂々と踊る姿をみて「かっこいい！すごいね！」と目を輝かせていました。地元の行事に触れ、えんぶりの魅力を目の前で見ることができとても貴重な時間でした！



ステラ・フォーカス



八戸学院3幼稚園
マスコットキャラ

ステラが行く

vol.6

八戸学院聖アンナ幼稚園 北東北初！富良野自然塾「46億年地球の道」プログラム」八戸開催

助成対象で全国8か所、出張プログラムを無償で開催と掲載されていました。またとないチャンスの到来を受けて期待に胸を膨らませながら応募したところ、選考に選ばれ八戸学院地域連携センターの多大なるご協力を得て今回の開催に至りました。

1日目はYSアリーナ八戸のサテライトキャンパスで高校生から一般を対象、2日目は幼稚園児親子・小学校低学年親子・小学校高学年親子を対象とした「46億年地球の道」プログラムを合計4回開催し、100名上の参加者にこの素晴らしいプログラムを体験していただく機会に恵まれました。今回の開催により北東北では八戸(本



学院)が初めての開催地となりました。聖アンナ幼稚園が行っているモンテッソーリ教育の中にはコスミックという分野があります。子どもたちは身の回りの自然に触れることから始まり、時の流れや地理、文化などについても経験しながら自分も宇宙の一部であることを知ります。やがては地球上の生物が互いに共存することの大切さに気付くようになり、その精神は平和を愛する心へとつながっていきます。今回のプログラムは、地球の壮大な歴史から見るとまだほんの僅かの間しか生きていない私たち人間に対し、大きな気づきを与えてくれるものでした。当たり前だと思っていたことは、実は本当にかげがえないものであること。



最近、グレタ・トゥーンベリさんが(16)が国連気候行動サミットで発言したことが話題になりました。温暖化対策の遅れによって被害を被るのは、大人ではなく若者(これからの未来を生きる私たち)なのだということを強く訴えるものでした。巷でもSDGs(2030年までに持続可能

でよりよい世界を目指す国際目標)のバッチをよく目にするようになり、地球環境に対する関心が高まりつつあることが伺えます。今回のプログラム後、新たに作られた富良野自然塾のチラシにもSDGsの二つの項目が表記されました。その中に開催地として八戸市が加わり、繋がりを持つ第一歩となったことをとても嬉しく思います。子どもたちが安心して生きる未来のために、私たちが今できることから行動していきましょう！



八戸学院幼稚園

「ステキな演奏のプレゼント」～様々な楽器の音色に感動～

毎月行われるお誕生会には、お楽しみコーナーがあります。保育教諭による手品、人形劇、ダンスなど子どもたちとの楽しい時間です。2学期のお楽しみコーナーでは、園児のご家族による素敵な演奏を聞かせていただきました。父チューバ、母フルート、おばあさまピアノと、保育教諭のカホンによる音のハーモニーを、一緒に歌ったり体を揺らしながら楽しみました。また、別のお誕生会では、母のサクソ演奏や八戸学院大学短期大学の安田先生のアコーディオン演奏など、これまで見たことのない聞いたことのない楽器を知り、その様々な楽器の音色が子どもたちの記憶に残った2学期でした。



八戸学院第二しののめ幼稚園

大学のお兄さんとサッカー教室

大学サッカー部のみなさんと一緒に広い人工芝でサッカー教室を開催しました。

年長児は準備運動もかねて、グラウンド1週、マラソンで保護者やサッカー部のお兄さんと走りました。広いグラウンドを走りきっても元気いっぱいの子どもたちでした。

サッカー教室は中村コーチご指導のもと、ボールと触れ合うことや体を動かすことの楽しさを教えてもらい、子どもたちの生き生きとした笑顔が輝いていました。

最後は保護者やサッカー部のみなさん対子どもたちでミニゲームをして、大人も子どもも楽しめる有意義な時

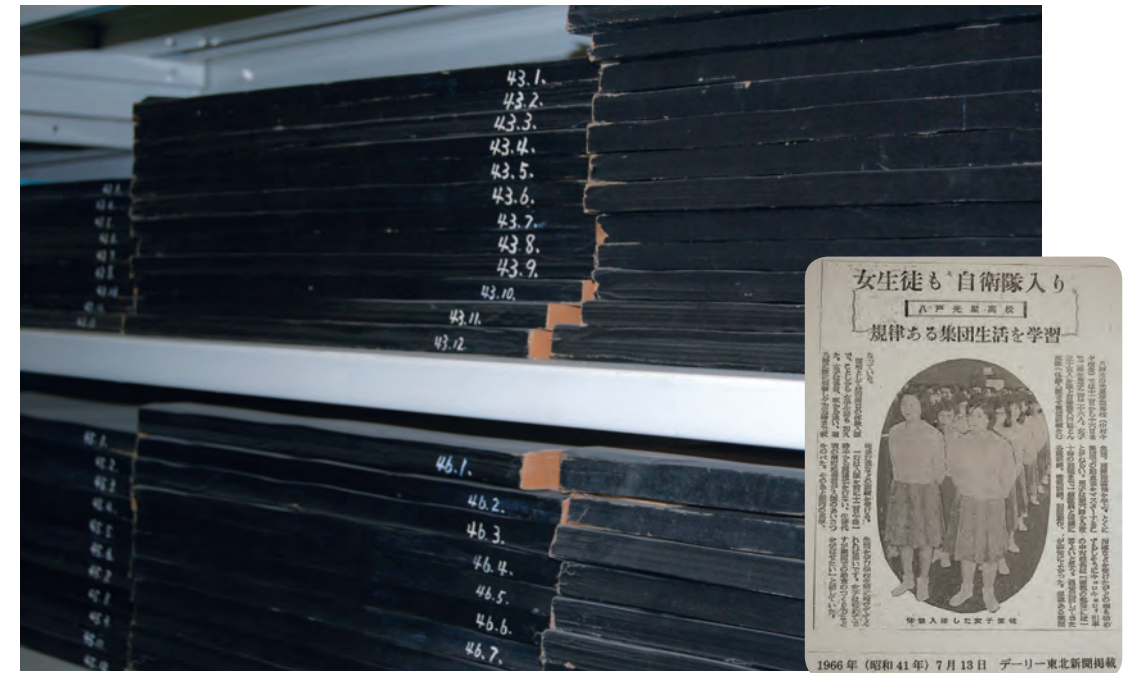
間となりました。

その後、自主活動の際にはサッカーをしたり、年長児はドッジボールやラグビーなどボールに積極的に触れて楽しむ姿が見られるようになりました。



八戸学院図書館

「光星学院の歴史資料を探索中！」
—愛着と共にアイデンティティ確立を目指して—



図書館ワークスタディの学生が、光星学院が過去において、どんな活躍をし、どんな社会貢献をしてきたか、そしてどんな運営をしてきたかを図書館の書庫にある新聞や本などの資料から抽出している。これは、これまで光星学院に関わってきた多くの教職員やOBの先輩方が担ってきた光星学院の発展の歴史を後輩たちに伝え、それにより在學生たちが母校を客観的に眺め、振り返り考えることで光星学院の歴史と一体になり、愛着と共にアイデンティティを確立することを目指している。

茶色に変色した資料を検索していると昭和41年7月13日にデーリー東北新聞に掲載された「光星高校の女子生徒が自衛隊に体験入隊した」との記事が見つかった。写真や記事内容から時代を感じさせられる記事を見つけた時、学生たちからは「おお!」とか「へえー!」と感嘆の声を上げながらその記事を精読している。これから多くの資料を調べていくなかでレスリングやスピードスケートなどオリンピック選手を輩出したことを目にするだろう。その時の学生の反応が楽しみでもある。

今後、光星学院の施設である大学、短大、高校、幼稚園などの抽出されたデータは、資料集としての保存やパネル化して館内への展示していくことを検討中だ。この歴史資料を収集する取り組みは、周年事業に縛られることなく、永続的に進めていくことが大切で、ゆくゆくは光星学院の歴史資料館や出版局設立を夢見ている。



《人と人との出会いを大切に》



高校時代に情報系の勉強をしていたので、八戸短期大学経営情報学科に進学しました。入学当初は、講義時間の長さと板書する量の多さに慣れるのが大変でした。しかし、ゼミで市の体育館を借りてバドミントンをしたり、遅くまで学校に残って学園祭の準備したり楽しい思い出ばかりです。今でも、仕事で美保野キャンパスを訪れ、お世話になった先生にお会いすると当時のことを思い出すことがあります。

将来は、パソコンを使った仕事に就きたいと考えていました。ゼミの先生からデザイン関係の仕事があることを教えていただき、現在の職場に就職しました。入社して、ポスターやチラシ、名刺などのデザインを手掛けていましたが、デザインの打合せ等で企業を訪問するよう

になると、人と接する仕事が楽しいと思うようになり、徐々に営業に出るようになりました。今思うと学生時代も常に体を動かしていたので、パソコンに向かう仕事より、営業の方が自分に向いていたのかもしれない。

営業の仕事には、常に納期がついてまわります。納品まで期間が短い場合もあり、予定通り納品できた時は、いつもホッとします。こうして期日までに納品ができるのは、自分の力だけでなく、当社のスタッフが一人となり取り組んだ結果です。これからも感謝の気持ちを忘れずに仕事に取り組みたいと思います。

辛いなことに、これまで私は人に恵まれた環境にあったと思います。仕事はもちろん、プライベートでも学生時代に始めたサーフィンを通じ、他県や外国にも



オダプリント株式会社
営業部係長 山田 健氏
八戸短期大学
(現八戸学院大学短期大学部)
経営情報学科
平成11年3月卒業



左から小田専務取締役と八戸短期大学（現八戸学院大学短期大学部）卒業の高橋さんと柳沢さん

知り合いができ、交友関係の幅が広がり、サーフィンの大会に出場するなど貴重な体験ができました。この繋がりが自分が自分にとって宝物であり、自慢です。これからも人との出会いを大切にして、公私とも充実した日々を送れるよう努力したいと思います。



先輩からメッセージ

挨拶は、コミュニケーションの第一歩です。

挨拶ができない人は、それだけで相手にマイナスの印象を与えてしまいます。私も「挨拶に始まり、挨拶に終わる」を心がけています。

挨拶ができる人間になりましょう。

光星学院イノベーションプログラム（基金）

平成30年度寄付受理ご報告

次の方々よりご寄付を賜りました。

皆様の温かいご支援に感謝申し上げます。

寄付金額

77,011,789円

平成30年4月～平成31年3月末

▼平成30年度の支出内容

■教育研究費補助

■全国高等学校野球選手権大会出場補助

■室内練習場維持費

■キャンパス内建物・設備改修等補助他

■国際交流補助

■選抜高校野球大会出場補助

■八戸学院幼稚園園舎新築返済補助

トラボクス株式会社	様	ほのぼの薬局	様	みちのくコカ・コーラボトリング株式会社	八戸営業部	様
医療法人はらだクリニック	様	株式会社オリワン	様	株式会社テクノル	様	
株式会社はらだメディカル	様	株式会社ヤマホコーボレーション	様	株式会社古川建装	様	
株式会社社古川建装	様	株式会社社山石材	様	株式会社社大山建工	様	
株式会社社藤田電気商会	様	株式会社社福萬組	様	三八五流通株式会社	様	
東亜道路工業株式会社	青森営業所	様	六戸中央印刷	様	八戸学院大学 父母の会	様
八戸学院大学 同窓会	様	八戸学院大学 後援会	様	八戸学院大学 短期大学部 父母の会	様	
八戸学院大学 短期大学部 後援会	様	八戸学院光星高等学校 P T A	様	八戸学院野辺地西高等学校 P T A	様	
八戸学院野辺地西高等学校 同窓会	様	八戸学院野辺地西高等学校 後援会	様	浦田 隆 様	鈴木 俊裕 様	
見附 夏海 様	柴垣 博孝 様	齋藤 祐貴 様	田中 哲 様	小比類巻 知子 様	鶴見 浩一郎 様	
畑山 俊輝 様	バリー・グロスマン 様	北上 勝男 様	玉樹 真一郎 様	法官 新一 様	グレゴリー・アンソニー 様	
古川 聡 様	川村 広志 様	浜 章夫 様	岩本 寿生 様	根城 隆幸 様	戸舘 勉 様	
新沼館 貴志 様						

山本春江様	木村紀美様	蛭田由美様	嶋山文絵様	原子内まさ子様	畑中孝太様	佐藤裕次様	加藤智恵様	安田久美子様	玉川恵里様	河村千代美様	柳沢里美様	早川幸久様	吉田尊徳様	正村公弘様	織戸浩義様	松山政義様	佐貫綾乃様	工藤祐太郎様	綿谷貴志様	山本雄大様	宮澤君子様	小柳達也様	渡邊由涉様	高嶋美知彦様	金地守実様	吉田千恵子様	佐藤のり子様	浜中昭夫様	小澤晶子様	熊谷喜輝様	小田稔様	瀧澤透様	遠藤守人様	坂野仁志様	高屋敷好孝様	金田一春香様
-------	-------	-------	-------	---------	-------	-------	-------	--------	-------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	-------	--------	--------	-------	-------	-------	------	------	-------	-------	--------	--------

千田建一様	井上丹様	崔桓碩様	田正文様	馬祥次様	長谷川美千留様	奈良貴卓様	坂本貴博様	村本卓様	高須行様	丹羽正泉様	大沢眞子様	蛭田由紀子様	中橋勇佑様	伊藤俊瞳様	加藤真由美様	岡沼始由様	岩浪ひとみ様	日當真湖様	佐々木美喜子様	久保宣子様	藤邊祐美様	佐藤真由美様	三浦広美様	田名部麻野様	切明美保子様	坂本弘子様	市川裕美子様	木村緑様	山野靖子様	坂本保子様	壬生寿子様	小沢久美子様	田中克枝様	高橋雪子様	高橋正知様
-------	------	------	------	------	---------	-------	-------	------	------	-------	-------	--------	-------	-------	--------	-------	--------	-------	---------	-------	-------	--------	-------	--------	--------	-------	--------	------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	-------

[illegible]

光星学院へのご寄付のお願い

寄付の概要

【設置目的】

教育内容の拡充を支える教育環境刷新

【使 途】

- | | |
|---------|--|
| ①教育環境整備 | 施設・設備等の拡充、施設の統廃合や新設、耐震補強の実施 等 |
| ②教育改革 | 教育改革に対する助成、地域との連携活動の展開、ICT技術の導入による教育の質向上 等 |
| ③教育支援 | 優秀な学生等への育英・奨学制度、留学生への支援、教育・研究活動への支援 等 |

税法上の優遇措置

学校法人光星学院は文部科学省より寄付金募集に関わる特定公益増進法人および税額控除対象法人の証明書交付を受けており、本学院に対するご寄付は税制上の優遇措置を受けることができます。

個人

税額控除または所得控除のいずれかを選択し、確定申告を行うことで所得税が還付されます。

<税額控除>

寄付金額が年間2,000円を超える場合、超えた金額の40%に相当する額が当該年の所得税から控除されます。

<所得控除>

寄付金額が年間2,000円を超える場合、超えた金額が総所得から控除されます。

法人

法人税法上、支出した寄付金を一定の割合で損金に参入することが認められています。

<特定公益増進法人>

寄付金の一定限度額まで損金算入ができます。

<受配者指定>

日本私立学校振興・共済事業団を通じ、私立学校を指定して寄付することで、全額損金算入ができます。

お申込み・お問い合わせ先

学校法人光星学院イノベーション基金事務局(総務部総務課)

〒031-8544 青森県八戸市美保野13-98 TEL 0178-30-1411 FAX 0178-30-1422

<https://kosei.hachinohe-u.ac.jp/>



法 官 新 一
Shinichi Hogan

令和の年



臨泉会 佐々木 月花 書

ねずみ
お 釈迦様のお見舞いに遅れてはならないと、前日から歩き始めた牛の背中になんか乗ったねずみは、ゴール直前、牛の背中からびよんと降りて一番になった。誰もが知っている十二支の最初になった子年の話です。

今年はその子年です。職員から干支にちなんだチョコレートをもらい、箱書きに「子年生まれの方は、明るく前向きな性格で、順応性がある」と書いてありました。今年、年男の私は、その言葉を素直に受け入れて頑張ってみようと思っています。

さて、時代は令和に変わりました。令和元年度は八戸学院大学、短期大学部それぞれ新しい学長の下にスタートしました。従来から持つ本学の特色を発展させてくれるものと期待した一年でした。また、幼稚園は幼保連携型認定こども園に、高校は国際化を掲げて高大連携の強化に取り組みをはじめました。フィリピンの提携校CNEIでの語学研修が始まり、フィリピンからの留学生の受け入れも実現し、目的の一つであった双方方向での国際教育事業が実現しました。さらに大谷先生が立ち上げたインフィニティ国際学院もスタートしました。

国際教育の目的は、「地球は我らの故郷である」という広い視野と気概を持った国際人の育成であり、それぞれの国が密接に関わり合う国際環境の理解と平和を希求する教育です。

四つの目標とスポーツ局

一般の法人60周年を節目に、これまで念頭に進めてきた「立体的総合学園構想」をさらに地域や国際社会に貢献することを目標に、改めて建学の精神に立ち返り、地域の学校として教育活動を展開していくことを宣言し、「教育の質(力)の向上」「学院の特色強化とグループ連携」「地域連携強化と共生」「新時代の国際教育の研究と実践」の4つの目標を掲げ「新立体的総合学園構想」という目標を設定しました。

具体的には、八戸学院大学・短期大学部を牽引役として法人内の連携を強化し、大学には新たに地域経営学部を開設し、地域密着型の学部としました。短期大学部においては福祉系の学科新設を高等学校の専攻科と併合して介護福祉学科を創りました。また高校においては単位制となつて興味・関心や特性にあった個性伸長を期した学びが始まりました。幼稚園ではいよいよ幼保連携型認定こども園として装いも新たにしました。

さらに、今年「スポーツ局」開設が決まりました。本学院は創立当初からスポーツの分野において、世界大会やオリンピックのメダリストなど素晴らしいアスリートを輩出してきました。そうした伝統に支えられ、各部の活躍には目を見張るものがあります。

実学と人格形成

また、近年はスポーツにおける学術的・科学的な裏付けや研究も進み、スポーツと科学や学問の密接な関係が立証されています。幸いに八戸学院にはそのスポーツと科学・学術を結びつける環境があります。今年はオリンピックの年、大学の新たな目論見と取り組みは、法人内の系列高校にも良い影響を及ぼしてくれると期待しています。また、創立以来本学院では、人格形成においては「実学」を根本に据えて運営してきましたが、同時に「実学」を深化させることを議論してきました。実学は単なる資格取得にとどまらず、人間として生きていく上で大事な要素を身につけるところの重要性に至りました。

については、真(学問の理想) 善(道徳の理想) 美(芸術の理想) 聖(宗教の理想) 健(身体の理想) 富(生活の理想) を根本とした全人教育の実践に力を注ぐことにしています。

追悼

浦田 隆 氏(享年83歳)

略歴

- 昭和33年 玉川大学奉職
- 昭和44年 文学部事務長
- 平成2年 学校法人玉川学園評議員
- 平成5年 玉川大学教学部長
- 平成6年 学校法人玉川学園常務理事
- 平成13年 定年退職

平成17年〜平成30年まで学校法人光星学院の役員監事としてご奉仕いただきましたが、令和元年10月28日逝去されました。これまでのご功績に感謝申し上げますとともに心より哀悼の意を表します。昨年12月21日玉川学園チャペルにおいて「お別れの会」が開かれ、生前交流のあった多くの方が参列しお別れと感謝を述べました。

ここに謹んで

ご冥福をお祈り申し上げます。



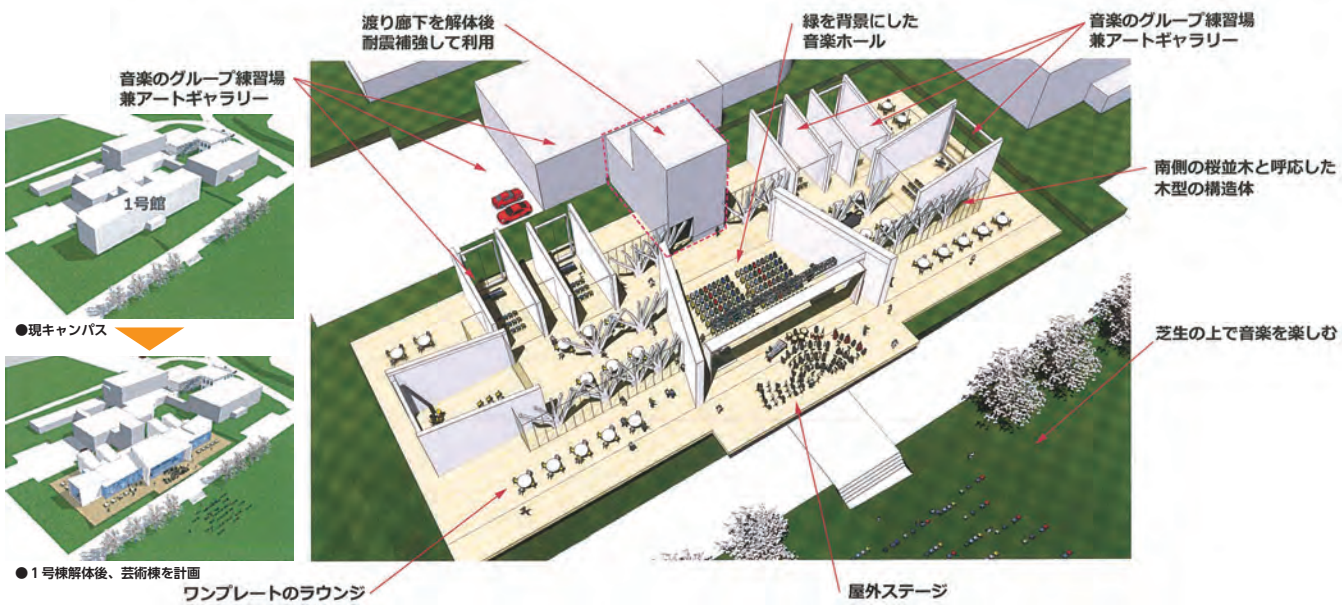
お別れの会

おしゃべり

理事長室には、多方面からのお客様が多数出入りしていただいておりますが、ある時、建設関係のご来訪がありました。つい理想のキャンパス整備の談義になるわけで、いつも現実を無視した無責任な話で盛り上がりつつあります。この時も、スポーツ局の創設からスポーツコミュニティとか、大学院構想や研究室棟とか高次元の教育環境整備が話題となりました。学生の生活環境としては、いつも学生寮や学生食堂が話題になります。ついには短期大学部と文化交流等の施設の整備にまでおよび、夢物語の話になってしまうことしばしばです。

そんな機会があつてからしばらくして、短期大学部と芸術コミュニティの部分の無責任な話を立派なイメージ図にしてみました。

このありがたい提供を一人でしまつて置くのはもったいないと思い、事業としては全くの白紙状態ですが、皆さんにもご披露する事にしました。いつの日か、ただのおしゃべりにならないよう前向きに努力していきたいと思ひます。





HACHINOHE GAKUIN CAMPUS SPOT

八戸学院国際教育局 Japan times cafe



八戸学院大学2号館



八戸学院大学キャンパス内にジャパンタイムズと連携した「ジャパンタイムズカフェ」がオープンしました。

国際教育局にあるカフェでは、同社特製のドリップコーヒーを飲みながら、常設のパソコンからジャパンタイムズの記事やデジタルコンテンツの閲覧が可能で、学生の英語力向上や国際理解の場として注目されています。

また、日本人学生と外国人留学生の交流の場として親睦会などが開かれています。どうぞ、ご利用ください。

ジャパンタイムズが特定の団体と連携してカフェを設置するのは国内初

八戸学院大学

